

高気圧酸素治療

高気圧酸素治療を知っていますか？この治療は水深約 10mの圧力をかけた装置の中で酸素を吸入することによって、普段空気中で吸っているよりも多くの酸素を血液内に溶け込ませ、体内の低酸素状態を改善させる治療法です。この他に、腸にガスが溜まって動きが悪くなり、腸閉塞になってしまった方に、圧力をかけることで腸内ガスを小さくして、動きを改善させる効果があったり、火災や工事現場等で一酸化炭素中毒になってしまった方の一酸化炭素を減らしたり、病気や怪我によって血流不良が起こり、潰瘍や壊死（えし）を引き起こしてしまった方に、傷の治癒を促進させる手助けもします。さらになん治療で放射線治療をした後に、副作用で障害が出てしまった方への創傷治癒支援など、ここには取り上げきれないほどの疾患に適応しています。

当院では麻酔科外来（ペインクリニック）にて治療を実施しており、突発性難聴の治療をされる方が多く来院されます。突発性難聴とは原因不明の難聴とされていますが、薬物治療・星状神経節ブロック等と高気圧酸素治療を併用することで、耳の周りの血流を良好にし、組織の活性化を促すことで回復の手助けをします。高気圧酸素治療をしたら必ず改善するというものではありませんが、様々な治療と併用することで、効果を上げる可能性があり、治療選択肢の一つです。入院でも外来通院でも治療可能です。治療時間は約1時間半で、そのうち約10分かけて治療圧に上げていきます。圧力を上げる際、気圧の変化により、耳痛が生じることがありますが、装置の中と外で会話ができるため、本人に合わせてゆっくり加圧するなど、調整が行えます。

装置は透明で、周囲が見られるようになっています。一度治療圧に達してしまえば、装置の中で寝たり、音楽を聴いたり、テレビやDVDを見ながら行えます。ただ酸素を使うため、火気厳禁です。治療を行う際には、静電気の発生しにくい綿100%の下着を準備していただき、専用の治療着で行います。

肺の疾患がある方、妊婦・閉所恐怖症等あるなど、人によっては治療を受けられないことがあります。ご希望の際には医師・臨床工学技士が説明を行いますので、ご相談ください。

【臨床工学技士 大崎 未央】

